

がんばったじきゅう走大会

御津南部小・2 石黒 ゆめ

わたしが二年生で、一番心にのこっているできごとは、じきゅう走大会です。

一年生のときは、一いでした。だから、二年生でも一いをとりたいと思えました。りく上のならいごとでれんしゅうのし走会になりました。ゴールの近くになると、くるしくなつたけれど、ゴールをめざしてがんばり、一いになりました。わたしは、うれしくなり、よし、このまま本番でも一いをとるぞ。と、もつともつとがんばる気もちになりました。

でも、し走会の後に、ねつが出て、学校を休んでしまいました。体がとてもおもかったです。お母さんが、

「ねつが出てもすぐなおるよ。ねつが下がったら、じきゅう走大会に出られるよ。」

と。言いました。わたしは、もうふの中で、早くねつが下がらないかな。じきゅう走大会に出たいなあ。と、心の中で思いました。ねつが下がり、いよいよじきゅう走大会の日になりました。じきゅう走大会は、十二月三日にうんどう場でしました。スタートのいちについて、わたしは、どきどきしました。

パン

ピストルが鳴りました。わたしは、体力をのこしておくために、少しゆっくり目に走りました。さいしょは一いでした。よし、かて

るぞ。と、思いました。でも、さい後のトラックに入ったときに、友だちにぬかされてしまいました。もうだめか。でもぬかしたい。という気もちがたかかっていました。いきもくるしくなりました。

そのとき、ママとおばあちゃんがいつもおうえんしていることを思い出しました。そうしたら、力がわいてきました。そして、さい後の力を出しきってゴールしました。

でも、けつきよく三いでした。わたしは、三いかざんねん。と、くやしくなりました。でも、がんばったから、まあいいか。と、思いました。でも、やっぱりくやしくて、三年生は、ぜったいに一いをとるぞ。と、心の中でちかいました。

かなしい気もちで家に帰ると、お母さんが、

「がんばったね。」

と、言ってくれました。

わたしは、やっぱり、三いになって、すごくくやしかったです。だから、もつともつとれんしゅうをしたくなりました。今、ならいごとのりく上でいっぱい走るれんしゅうをしています。五十メートル走も、だんだんはやくなってきました。

ママが、

「すごいはやくなってるね。つぎもがんばろう。」

と言ってくれました。

わたしは、三年生のじきゅう走大会が、今からどきどきして楽しみになりました。来年のじきゅう走大会は、一いをとりたいです。